

対象年度	令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート					
事務事業名	フィルムコミッション推進事業						予算事業名	フィルムコミッション推進事業費
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令
			07	01	05	1102	経常経費	
総合計画体系	3歴史と自然を育む活力あるまちづくり(産業)						事業の区分	主要事業
	3-4地域資源を活用してにぎわいと交流を促進する観光の振興(観							重点事業
	③フィルムコミッションの推進						担当課係等	商工観光課
	1フィルムコミッション推進							観光係
事業期間	継続 (平成18年度～ 年度)							
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】						【事業開始のきっかけや他市の状況など】		
映像作品のロケ地として本市が採用されることにより、撮影地に発生する一時的な経済効果を生み出すとともに、市の知名度向上を含めた観光資源として活用することによる二次的な経済効果、さらには市民の郷土愛の向上に寄与する。						H10年前後より各地でFC事業が取り組まれ始まり県内では常総市が早期に開始。本市でもH14年に同事業を開始している。H28年4月現在の「いばらきFC等協議会」には30市町村が加盟。		
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】						【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】		
映像制作事業者からの依頼内容を把握し、適切なロケ地の紹介を迅速に行う。 また、作品内容が本市の利益(イメージアップや経済効果など)につながるか否かを勘案し、誘致の是非を判断する。 また、同事業者及びロケ地との事前調整、撮影時における調整を適切に行うことにより、安全かつスムーズな撮影を支援する。						一般市民及び映像制作会社		
						【事業をとりまく環境の変化】		
						昨今ではFC事業に取り組む市町村が増加しており、誘致が困難になって来ている。特に本市は山・海・川などの自然が少ないことから建物と取材的要素の強い番組(結城紬関連)の実績に偏りがちとなっている。		
【令和 3年度 事業内容】			【令和 4年度 事業内容】			【令和 5年度 事業内容】		
映像制作事業者からの問い合わせに対して初動時間を短縮し、ロケ地誘致を実施する。			映像制作事業者からの問い合わせに対して初動時間を短縮し、ロケ地誘致を実施する。			映像制作事業者からの問い合わせに対して初動時間を短縮し、ロケ地誘致を実施する。		

■事業費

		R01年度	R02年度			
財源内訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	20	20			
歳入計(千円)		20	20			
歳出内訳	節(番号+名称)	金額(千円)	金額(千円)			
	10 需用費	20	20			
歳出計(千円)(A)		20	20			
伸び率(%)			0.00			
備考	総合計画107ページ 予算書133ページ					

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	活動件数	件	目標	30.00	30.00	30.00
	㊦地照会に対し、㊦地推薦など事務手続きを実施した件数(撮影地該当無しなどの回答のみの案件は除く)		実績	16.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	誘致件数	件	目標	12.00	12.00	12.00
	㊦地を推薦し、実際に撮影が行われた件数（㊦地が既に決定していた案件のうち撮影協力をを行った案件を含む）		実績	8.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	テレビに取り上げられる宣伝効果は高く、低予算で経済効果を生み出せる可能性が高い事業であるため。
妥当性	実施主体の妥当性	B どちらとも言えない	F C事業が定着してきており、今後は他市動向を参考にして観光協会やTMO結城への移管を進めるのも方法である。
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	催事や日常業務により、人的に対応できない場合もある。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	当たれば大きいので、コスト効率は良い。人的には現在実施しているように、可能な際に支援ということであれば人員効率も良い。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	一時的な経済効果は別にして、観光誘客に伴う二次的な経済効果や知名度向上などを鑑みした場合、公平ともいえる。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	年間を通じて確実に対応できる体制が確保できれば成果向上が期待できる。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	東京圏と近いという利点を生かしつつも、すべてのロケ希望内容に合致した場所が推薦できるものではないので、何とも言えない。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
低予算で本市の知名度向上と一時的な経済効果を同時に期待できる本事業の有効性は高い。また、撮影地の観光資源化による二次的経済効果も図れることから発展性のある事業といえる。 しかしながら、現在の手段では夏から秋のイベントシーズンにおける繁忙期の人的対応が難しいため、年間を通じて確実な対応ができない問題がある。また、撮影の内容によっては、必ずしも本市の知名度向上が図れるものではないため、ロケ隊の宿泊やケータリング、機材調達など経済効果につなげていく。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
夜間や長時間の撮影の帯同や施設管理者との調整など、人件費を経費として製作会社へ請求する。または、市直営でなく、民間組織に業務を行わせて、手数料や経費を収入源として運営させることなどを検討する。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 作品にもよるが、これまでの傾向から本市を題材として、または本市を拠点として長期の撮影を行う事はほとんどなく、ロケ地巡りなどのように観光に活かすのは困難である。むしろ、ロケ隊の本市における消費活動による経済効果を主眼に置くべきと考える。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	